



認め合い、多様な人と力を伸ばす子に ～絆づくり～



春はあっという間に去っていき、日差しの強さを感じる季節になりました。朝、子どもたちを迎えていると、気温が少しずつ高くなってきているのが分かります。

先月、子どもたちをいつも見守ってくださる方々との対面式を行いました。あいさつだけでなく「行ってらっしゃい。」「今日も楽しくね。」と、いつも子どもたちに声をかけて優しい瞳で見守ってくださっています。何よりも子どもたちの名前を呼んでくださり、いつも一緒に登校する友達のことまで把握されている方もいらっしゃって、大変ありがたい思いでいっぱいです。式の中で子どもたちからは、日頃の感謝の思いや見守っていただくことへの嬉しさを伝えることができました。

こうした活動は、本校の“絆づくり”部が中心となって行っています。教職員が3つの部（学び・心みがき・絆づくり）を分担し、学校教育目標達成に向けて子どもたちと共に様々な活動に取り組んでいます。“絆づくり”部では下記の3つの指導項目を重点に取り組んでいます。



絆づくり 重点項目

- 互いを認め合う集団づくり: 仲間との対話・ふり返り活動、子どもを中心にした委員会等活動の充実
- 多様な人との教育活動: あいさつの励行、地域の方々や園児、中学生、高校生、たてわり班、ペア学年等の交流
- コミュニティスクールを活用した教育活動の推進: 地域行事の活用、積極的な情報発信



1年生を迎える会や運動会でも委員会や係といった子どもが中心となり、たてわり班で活動したり、異学年で練習に励んだりして取り組みました。学校生活の中だけでなく、子どもたちは様々な場面で、思いどおりにならないことにもたくさん出合います。そんなとき、どのように折り合いをつけていくのかを学ぶことも、生きていく上でとても大切な力です。この力を身に付けていくためには、**多様な人と出会うこと、そして、共に**

体験をすることが大切だと考えます。その多様な人たちとの出会いの場をコーディネートするのも、学校の大切な役割だと考えています。

遊びの中での譲り合いや、あきらめずに最後までやり抜いてできるようになったことなど、一つ一つの体験を通して、**我慢すること、感謝すること、本気で向き合うこと、相手を思いやること、互いの違いを認め合うこと**など大切な「生きる力」を身に付けていきます。思いどおりにならない壁にぶつかることこそ、成長には欠かせないものです。

新しい環境にも慣れ、心ない言葉で相手を傷つけてしまったり、思い込みで行動してしまったりしがちな時期です。子どもたちを信じることを大切にしながら、もし、まちがっていたら正していくことも大人の責任です。子どものよさを認めながら、機会をとらえて必要なアドバイスをしていくことも大切です。子どもたちが認め合ってみんなで力を伸ばしていくことを目指して、必要な力を共に育てていきましょう。



<6月の主な行事>



1	日		16	月	委員会活動
2	月	全国小学生はがき大会参加（5年6校時）	17	火	引き渡し訓練
3	火	4年社会見学	18	水	4校時授業 すくすく教室 SC 来校 風の灯台お披露目式（13:15～）
4	水	フッ化物洗口 すくすく教室 救命救急講習	19	木	海のゴミ問題授業（4年）
5	木	内科検診（高学年）	20	金	お話の会（2年2組）
6	金	移動音楽教室 プール清掃	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	
9	月	全校外庭掃除デー	24	火	ゴミ問題出前授業（4年） シマヤ出前授業（5年）
10	火	新体力テスト	25	水	フッ化物洗口 すくすく教室
11	水	フッ化物洗口 プール開き すくすく教室	26	木	学校運営協議会② 校内綱紀保持委員会
12	木		27	金	お話の会（1年） クラブ活動
13	金	お話の会（2年1組） 代表委員会	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	



◆ 7月以降の予定



- 2日（水） 4校時授業
- 4日（金） 参観日 個人懇談（希望者）
- 5日（金） お話の会（1年1組）
- 18日（金） 1学期終業式 給食終了
- 8月25日（月） 2学期始業式 給食開始



メディアチャレンジ週間の取組（6/19～6/25）

近年、大人だけでなく子どもたちの間でも広く浸透しているインターネットの世界。インターネットを通じて、知りたい情報を瞬時に得たり、今居る場所から世界中のだれとでもつながったりと、私たちはインターネットの便利さを存分に楽しんでいます。



一方で、メディアと脳との相関関係が科学的にも解明され始めてくるにしたがって、「スマホ脳」「ゲーム脳」といった言葉が社会全体で問題視されるようになっていきます。また、昨年度に実施した本校の学校評価アンケート結果からは、設問「（我が子は）メディアとの関わり方や読書等において、家庭で決めたルールを守っている」の評価が低下していることから、子どもたちとメディアとの正しい関わり方は子どもたちを支える我々大人にとっても重要な課題といえます。

そこで、本年度も桃山中学校区合同でメディアチャレンジ週間を実施します。今年度は、単にゲームやスマホを使わない時間を確保するだけではなく、ゲームやスマホなどに触れなかった時間を読書や体力づくりといった内容を自分たちで考えて有効活用できるような取組にしていきたいと考えています。詳細はおってお知らせいたしますので、保護者の皆様にもご理解をいただくとともに、ぜひお子様とふれあう時間などにご活用いただきますようお願いいたします。

